

第33号(平成27年8月)

毎月20日頃発行  
www.ny-tokyo.com

今日のテーマは  
“夏休み”



=この=

子供の頃は宿題がない大人を  
うらやましく思っていましたか...  
今では真っ黒に日焼けした子供達  
がうらやましい限りです... ちばい

夏休みといえば“帰省”、“部活の練習”  
“盆踊り”...  
子供の頃夜の盆踊りかとても楽しかったと  
記憶している。毎日、何日間もあんなような気がし  
たが、最近では、1/2 楽しめないですね。  
藤田

竹の葉を2枚目のUSJ.  
乗ってきた子犬のドッグハウス(他は外ケツン)。  
観覧車の子犬のフェリス(他は外ケツン)。  
観覧車の子犬のドギー。  
他は外ケツンの子犬のドギー。  
=この=



子供の頃の夏休み、ワクワク、ドキドキ  
本当に楽しい毎日でした。^^  
父親になったの夏休み、子供達をワクワク  
ドキドキさせる喜ぶの日々です。  
吾い

夏休みまでの日数を数えている時が一番  
幸せな時かもしれません。休みに入った瞬間  
から終りへのカウントダウンは始まってしまう。  
始まらないのは嫌です。竹生

家族4人で葛西臨海公園  
へ行って来ました。大観覧車、  
水族園、ビーチにBBQも  
有り 1日満喫できました。  
費用も良心的でしたよ。鳥村



中国では、社会人になって、夏休みは  
ないですが。日本はみんなお休みがあって、  
意外でした。今回 江ノ島と鎌倉へ遊び  
に行きました。海岸と岩屋と江ノ電 印象深い  
です。  
王慧丹

海水浴、日焼け、スイカ、昼寝、  
朝6:30からのラジオ体操、朝の朝顔、  
昼間のひまわり、...

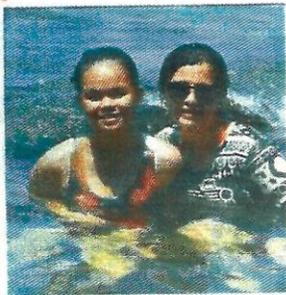
夏ってのは、他の時季よりも、いつも以上に  
能天気な単純に過ぎない。 (赤)

夏休みは、親戚・家族が一同に集まり  
地域の盆行事、お祭り、花火など普段  
経験することが出発は貴重はりませうと  
思います。夏休みは、それに日本の文化・  
伝統を再発見できる貴重な機会では  
ないでしょうか。新里

10年前の夏休みは部活漬けの日々でした...  
ソフトボールをしていたので肌は真っ黒に日焼けして  
いました。そして今年の夏休みはスリランカへ...  
また真っ黒になりそうな予感です... (赤)



今年の夏は、猛暑が続く厳しい暑さでした。  
夏といえば、甲子園球場で行われる高校野球  
を思い浮かべる人も多いのではと思います。  
今年は久しぶりにじっくり観ることができました。  
地元を応援することも熱が入りますが、私に  
とってはやはり夏の風物詩だなぁと実感です。  
高校野球の勇姿はかっこいいですね。大迫



My favorite place to vacation is any place by the ocean or beach. My daughter and I went on vacation to get away. We went to beaches of Batangas, Zambales and Subic.

The best time of the year arrived. Have a beautiful vacation with all your family.



Summer Vacation probably is one of the HAPPIEST period in a year... This is the time to relax and go to the BEACH!!! ...and have fun under the sun ~~☀~~



But for me, I enjoy the most in summer is the Filipino delicacy dessert called "Halo-Halo" or shaved ice dessert with lots of different fruits and some ice cream on top! ...to beat the heat of summer.



映画『アハツチ岩』の中に、二んはセリフが出てくる。「酒場では酒と女を巡って喧嘩をする男達が、戦場では水筒に残った最後の一滴の水も分け合う」また、相田みつをの作品には二んは言葉がある。「うはい合えば足らぬ 分け合えばあまる」よく「将来が心配」という人がいるが、では何と何がとれただけあれば安心なのだろうか？ 京都の龍安寺にある手水鉢には、二んは文字が刻まれている。↓ 中心の口を一字に含め、上から時計廻りに「吾唯足知（わかただたるをい）」と読む。



我々を満たしてくれるもの——それはまるで手水鉢を満たしていく、静寂に湧く澄んだ水の様な、心に沁み渡っていく「何か」なのだろう。

そしてそれは決して量の多少の問題ではないのである。

千葉

私はゲームはやりません。だけど、これからも、岩田さんから、いろいろな大切な事を教えてもらいたい、学んでいきたいと思っています。「直接！」ではないけれど、木村